

ミズホ式葉色板の 利用方法

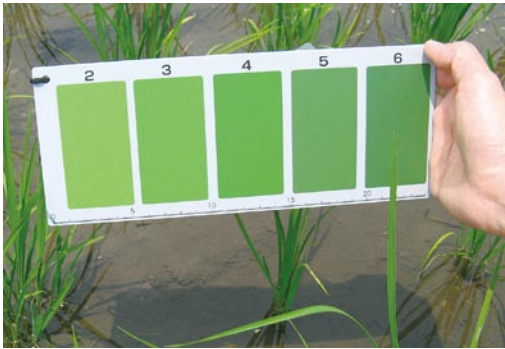
ミズホ会員の中には、講習会の際にミズホ式葉色板のことを聞いたり、現地研修で使っているところを見たり、また実際にご活用されている方がおられると思います。

今回、これからこのミズホ式葉色板の購入を考えている方や、購入したけど、イマイチ使い方が分からないという方のために、葉色板の使用方法をご紹介します。

ミズホ式葉色板の使い方

まず、天気の良い午前中（朝方）に葉色を見ます。

太陽を背にした状態で葉色板に葉を重ねます。重ねる葉は一番新しい葉から2〜3枚目で、葉の中央また



葉色がはっきり認識できる位置を探し、葉色板の色に近いものをみつける

は、そのやや上の部分で行います。日光が直接当たると、実際の色より薄く見えたり、暗いときは色が分からずらくなります。その場合は、色がはっきり見える位置を探し、葉色板の色に一番近い色を合わせます。葉色の番号が分かったら、次に葉色板の裏面を見ます。



このように、棒などに葉色板を固定し、稲の中に立てて、少し離れて見るとわかりやすい

自分の圃場の葉色と、時期①ごとの理想の葉色②を比較して、濃かったり薄かったりした場合、調節肥③や穂肥④を参考に、してそれぞれの施肥を行います。

葉色を確認して過不足なく追肥することは減肥と多収につながりますので是非実行してください。

ミズホ式葉色板(裏)の 見方

②【葉色】
生育ステージにより、葉色を数字で表しています。
数字は、葉色板(表)の各色の上部に表記
例：出穂～70日頃
コシヒカリ 3.5～4.0
多肥性品種 4.0～4.5

【調節肥】
出穂～45日～30日の間に施肥します。
調節肥は、分ケツの本数と稲の栄養状態を良くするために大切な肥料です。
MリンPKを施肥することで、第4～5節間が伸びる前に稲をガッチリさせ、倒伏を防ぎます。

●調節肥(出穂45～30日前)

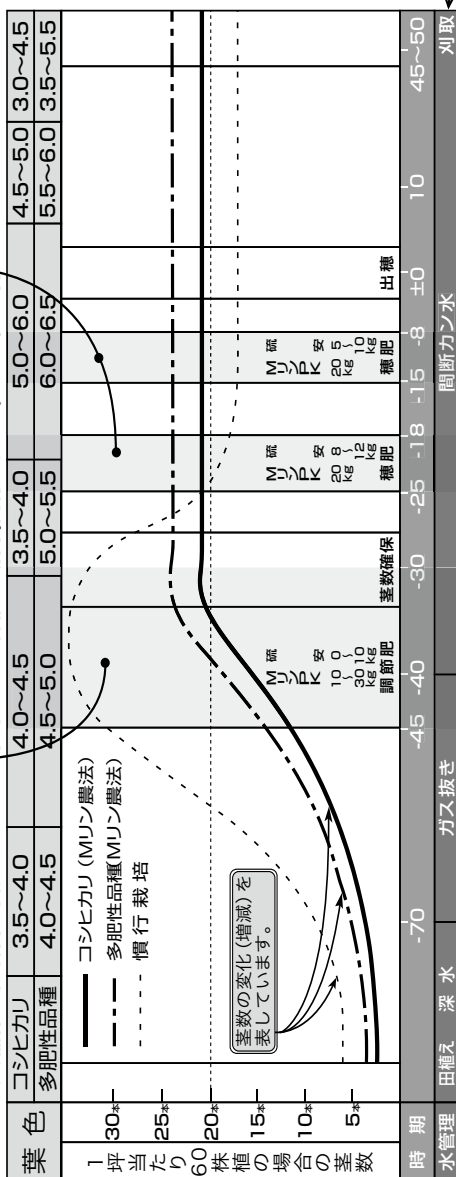
	MリンPK	硫	安
濃い葉色(葉数過多)	30kg	—	—
さめはじめた葉色	10～20kg	3～6kg	—
うすい葉色	10～20kg	5～10kg	—

【穂肥】
第一・第二穂肥の施肥により、稲が大きな穂を捻らせるための養分を与えます。
MリンPKは、デンプンを穂に転流させるのに欠かせません。
第一穂肥は実の肥大！第二穂肥は収量アップに！

●第一穂肥(出穂25～18日前)

	MリンPK	硫	安
濃い葉色	20～30kg	—	—
うすい葉色	10～20kg	10～15kg	—
標準葉色	20kg	8～10kg	—

<Mリン農法稲作の肥培管理目安表> ※1坪当たりの60株植の場合(目標茎数 1,200本/坪)



①【時期】
出穂日(±0)を基準にしています。
その日数を目安に、葉色、追肥、水管理等を行います。
※出穂は、それぞれの圃場に合わせ計算してください。

③【水管理】
田植え直後から、刈取りまでの水管理を表記
例：出穂～70日～40日の間は、ガス抜きのため田干しします。